



1月の聖句



「受けるよりは、与えるほうが
幸いである」

使徒言行録 20章35節

新年、あけましておめでとうございます。昨年に引き続き、幼稚園のホームページで今月の聖句をお届けします。聖書の言葉を通して、聖ミカエル幼稚園の建学の精神であるキリスト教に親しんで頂き、教会にもお気軽に足を運んで下さるきっかけとなれば、チャプレンとしてこんなに嬉しいことはありません。

さて、受けるよりは与える方が幸いであるという今月の聖句。「してもらうより、してあげる方が幸せ」という何とも不思議な聖書の言葉です。

「その頃の私は、誰も、あいさつをしてくれない、なぐさめてくれない、わかってくれない、という自信を喪失した～くれない族～になっていました」とその著書で、シスター渡辺和子さん（ノートルダム清心学園理事長）は告白をされています。

そんな時、一人の宣教師から「あなたが変わらなければ、どこに行っても同じことですよ」と「置かれたところで咲きなさい」から始まる短い英詩を贈られたそうです。曰く、「Bloom where God has planted you.（神が置かれたところで咲きなさい）」。その翌日から、自分の方から先に挨拶をし、お礼を伝えるようになると、不思議と、周りにいる人たちも明るく優しく変わっていったそうです。

人間の心は、自分が与える立場にならないと、いつまでも満たされないものである、という真実をこの聖句は教えてくれています。

ではでは、また来月



チャプレン
日本聖公会 姫路顕栄教会
牧師 司祭 藤井尚人